

# 宍道湖流入・流出水調査月報

(平成 15 年 1 月期)

## 水質概要

1 月の水温は、表 1 に示すとおり平年値（上層 4.8、中層 4.7、下層 4.9）並の分布を示した。図 1 に示すように、1 月の水温は 3.7~5.3 で変動しており、1 月中旬に水温が高くなる変動を示していた。水深による顕著な差異は見られなかった。

1 月の塩分は、表 1 に示すとおり平年値（上層 4.6psu、中層 5.0psu、下層 7.0psu）と比較して 1.7~4.4psu 程度高い値を示していた。気圧の低下が見られる 5 日、28 日付近は、中層以深の水温、塩分が高くなっており、高塩分水塊の流入が見られた。気圧の高い 25~27 日は、高塩分水塊の流入は見られなかった。また、1 月の観測においては、高塩分水の遡上はほぼ周期的に確認された。

1 月の溶存酸素濃度は、表 1 に示すとおりほぼ 7.8~11.6mg/l の変動であった。（平均値：上層 10.7mg/l、中層：9.8mg/l、下層：9.2mg/l）

表 1 1 月期の水質概要

		水温	塩分	溶存酸素濃度
		( )	(PSU)	(mg/l)
上旬	上層	4.3	5.8	8.9
	中層	4.6	9.6	7.8
	下層	4.8	11.7	9.3
中旬	上層	5	8.1	11.4
	中層	5.3	12.3	10.5
	下層	5.4	11.7	9
下旬	上層	3.7	5.2	11.6
	中層	3.8	6.6	10.9
	下層	4	6.1	9.4
月間平均 (1月)	上層	4.3	6.3	10.7
	中層	4.5	9.4	9.8
	下層	4.7	9.7	9.2

(水温・塩分平均値は、島根大学 宍道湖・中海水質月報、1994 年 4 月より引用)

(表の中の数字は、平均値を示す)

## 水質

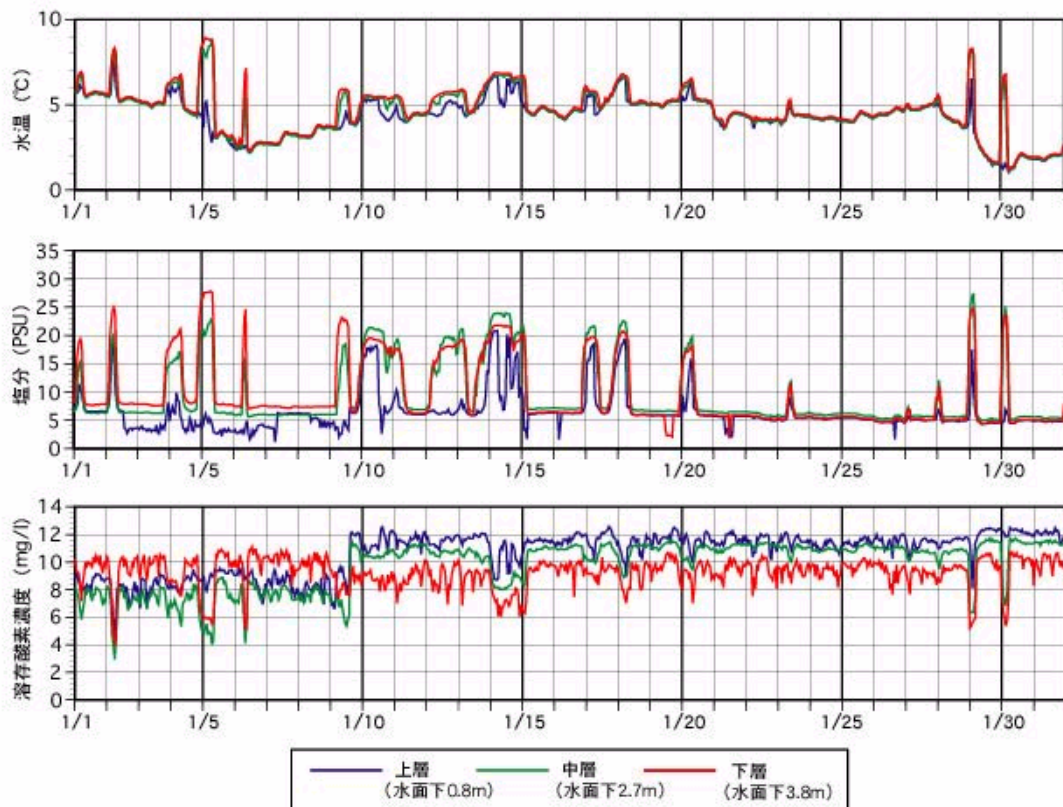


図1 水温・塩分・溶存炭素濃度の時系列変化

## 気象概況

図2に示すように、1月の気圧変動は、全体としてほぼ1000hPa以上の変動であった。平均気圧1012.2hPaは、平年値（平年値1019.8hPa）と比較して低かった。表2に示すとおり、1月の日射量は、0.0299MJ/m<sup>2</sup>であり、12月と比較して高い値を示していた（12月平均値：0.0232MJ/m<sup>2</sup>）。

1月の風向・風速は、平均風速3.8m/sec（平年値3.9m/sec、西風）であり、平年並の値と比較して低かった。

表2 1月期の気象概要

		水温	塩分	溶存酸素濃度
		( )	(PSU)	(mg/l)
上旬	上層	4.3	5.8	8.9
	中層	4.6	9.6	7.8
	下層	4.8	11.7	9.3
中旬	上層	5	8.1	11.4
	中層	5.3	12.3	10.5
	下層	5.4	11.7	9
下旬	上層	3.7	5.2	11.6
	中層	3.8	6.6	10.9
	下層	4	6.1	9.4
月間平均 (1月)	上層	4.3	6.3	10.7
	中層	4.5	9.4	9.8
	下層	4.7	9.7	9.2

(平年値は、平成13年気象の暦(山陰版)(財)日本気象協会中国センターより引用)  
(表中の数字は、平均値を示す)

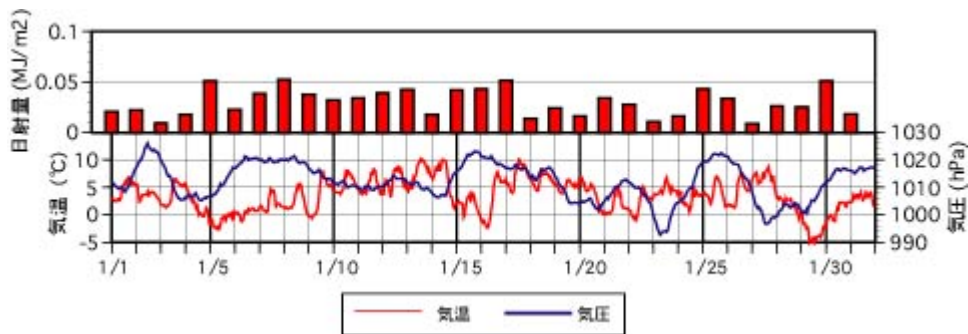


図2 気温・気圧・日射量の時系列変化

### 流況

1月の平均東方流速は、上層 29.1cm/sec、中層 19.1cm/sec、下層 18.2cm/secであった。東方流速が卓越する16日、24日～26日付近は、高塩分水塊の流入は見られなかった。1月の東方流速は、潮汐による往復流が見られた。

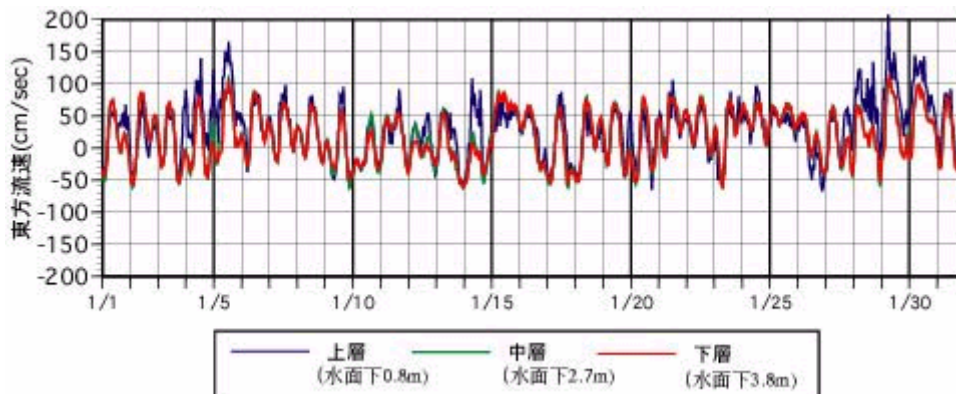


図3 東方流速の時系列変化

-----